

【文化祭に向けて】

令和3年度第93回金高祭は9月14日(火)、15日(水)の2日間『一祭合祭楽しもう』のスローガンのもと開催されます。昨年度は中止になった文化祭ですが、今年度は新しい生活様式の中で自分たちが今できることを模索し、仲間と協力し作り上げる楽しさを感じていきたいと思いをします。

今年度は三密の回避、熱中症予防や校舎の改築などの観点から全校生徒を一斉に活動させることは困難と判断し、全校生徒をA・Bの2グループに分けて活動します。1グループは体育館でのステージ発表もう一つは校舎内での縁日、展示、模擬店を行い、前後半で活動を交代します。お互いのグループの企画をライブで鑑賞することはできませんが、後日DVDに編集したものを全校生徒に配付しますのでそれまで楽しみにお待ちください。

初めての取り組みが多く予期せぬ事態もあるかと思いますが、それを乗り越えることも今後の成長に資するものになると前向きに捉え進めていきたいと思いをしますので、みなさんの協力をお願いします。全校生徒並びに教職員が力を合わせ、多くの楽しい思い出を作っていきます。

生徒会指導部 波佐間 美樹

【文化祭への抱負】

部活動や勉強に励んだ夏休みが終わり、待ちに待った高校生活の一大イベントである文化祭が始まります。去年は中止だったこともあり、楽しみにしていた方々も多いのではないのでしょうか。今年の文化祭はコロナ禍の制限により例年とは異なる形での開催となりますが、盛り上げていけるかどうかは生徒の皆さんにかかっています。

コロナ禍の今、日本中で多くの学校行事が中止や延期となっています。そのような中でも文化祭を開催できる今を全力で楽しんでみませんか？全力で楽しむことができれば、制限されている中でも素晴らしい思い出を残すことができるはずです。

文化祭では1年生は展示等の企画、2年生はステージでの発表、3年生は模擬店、その他にも部活動や有志の発表等、様々な企画が用意されています。それぞれの中で創意工夫をこらし、文化祭を成功へと導きましょう。

生徒会会長 武田 麗央

【防災訓練について】

本校では、防災訓練を7月7日(水)に実施しました。今後いつ災害が起きるかわからない状況です。災害が起きたときに気をつけなければいけないことや理解を深めることについて以下にまとめましたのでお読みください。

1 防災訓練で重要なこと

- (1) 危機に迫られたとき、迅速に正しい行動をとる。
(地震、津波、土石流、洪水等)
- (2) 災害には前兆があり、前兆を見逃さず、正しい行動をとれるよう訓練を通じて理解する。

2 災害の前兆

- (1) 地震の前兆
動物の集団異常行動(カラス、雀、ネズミ等)
- (2) 津波の前兆
潮が急激にひく。第一波から逃げるまで猶予は約5分。
- (3) 土石流の前兆
雨が降った後など山鳴りや腐った土の匂いがする。
川が濁り流木がある。

(4) 洪水の前兆

雨が降り、川が濁り、激流となり、沿岸の削れ、亀裂、破壊の兆しがある。

3 防災の理解を深める

防災は、あらゆる角度からの情報(※1)を取得し、前兆等の知識を高め、これらを理解している前提で訓練を行う。

(※1) 災害が起きた場合、避難を判断する情報(各市町村より発令される情報や気象庁より発表される防災気象情報等)。

